

**2025年度 国立台湾師範大学管理學院
派遣留学 実施要項**

1. 大学概要

2008年に設立された国立台湾師範大学管理學院は台湾で最も新しい公立のビジネススクールです。台北市の中心に位置し2014年台湾メディアにより第4位にランクインされました。管理學院は、文化および創造産業の経営、改革経営、起業家精神などの分野のコースで、革新に焦点を当てています。

2. 実施場所

中華民国 台北市

3. 講義期間

2025年9月初旬から2025年12月下旬まで*

*2025年度秋学期の日程は未発表です。

4. 応募方法

1) 申し込み締め切り：2025年3月14日（金）

2) 申込方法：在学生のページから「派遣留学申込書」をダウンロードし、記入の上、英語能力証明書とともに、受付期間内にビジネス研究科事務室窓口へ提出して下さい。複数の海外協定校への申込みは認められませんのでご注意ください。

5. 科目履修・プロジェクト研究基礎、IIについて

このプログラムはビジネス研究科の在学生が、ビジネス研究科に在学したまま休学等をすることなく、台湾師範大学に短期留学するプログラムであり、このプログラムに参加する学生は、秋学期にビジネス研究科で開講される科目は登録・履修することはできません（プロジェクト研究基礎、IIを除く）。

2025年度の秋学期にプロジェクト研究基礎を履修するビジネス専攻の学生は、派遣留学期間を除いて、秋学期の期間中に、教育の質保障を担保するために本学において対面による履修指導を受けることが必要です。

2025年度の秋学期にプロジェクト研究IIを登録するビジネス専攻の学生は、派遣留学期間を除いて、秋学期の期間中に、教育の質保証を担保するために本学において対面による履修指導を受けることが必要です。なお、ソリューションレポートは次年度以降に提出し口頭審査を受けることとなります。

台湾師範大学では最大12単位4コース（単位換算は下記を参照）の履修が可能です。ただし、課程修了単位に算入できる単位数は、国際連携科目及び本研究科グローバル経営研究専攻設置科目と合わせて上限10単位までとなります。

【(参考) 単位換算】

ビジネス研究科履修登録単位		国立台湾師範大学履修登録単位
国際連携科目（4単位）	=	台湾師範大学の科目（3単位）

6. 応募資格 *教務主任へ要事前相談

- ① ビジネス研究科在学学生（ビザの問題などがあるため希望者は事務室に相談のこと）
- ② 累積GPAが3.0以上の者
- ③ 英語能力 以下の各テスト規定の点数以上を既に取得した者
 - TOEIC Listening & Reading Test® 760点以上
 - TOEFL iBT® 83点以上
 - IELTS 6.0以上
- ③ 国費留学生は応募資格を有しない。

7. 募集人員

1名

8. 選考方法

派遣対象となる学生には、現地にて同志社ビジネススクールの代表としての振る舞いが求められるため、対象者の選考はその点を考慮し実施されます。選考はビジネス研究科にて実施し、教授会により最終決定されます。選考結果については教授会后、事務室より通知いたします。

なお、教授会決定は本研究科による派遣対象学生の決定となり、「協定大学による受入」を決定するものではありませんので注意してください。派遣対象者に選定された学生は、後日改めて協定大学への申請作業が必要となります。

9. 履修科目の内容

台湾師範大学で開講されている科目については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mgt.ntnu.edu.tw/en/>

<https://courseap2.itc.ntnu.edu.tw/acadmOpenCourse/>

10. 経費

このプログラムへの参加に掛かる費用は、おおよそ、授業料・教育充実費[以下の①を参照]、現地での生活費、旅費・交通費ならびに、派遣留学期間中に日本での住居の賃貸契約を

継続する場合にはその住居費や関連維持費用となり、すべてを自己負担いただく必要があります。

① 授業料ならびに教育充実費（同志社大学に納入）

同志社大学に在籍したまま留学するため、授業料ならびに秋学期の教育充実費は同志社大学へ納入することになります。台湾師範大学への授業料の納入は不要です。

2024年度以前生の授業料は以下を参照してください。

<台湾師範大学にて1科目を履修するに当たっての授業料>

台湾師範大学 履修登録単位	ビジネス研究科 履修登録単位	授業料
2単位 国際連携科目	2単位	1単位あたりの単位授業料×2
1単位 国際連携科目	1単位	1単位あたりの単位授業料×1

② 生活費

現地での毎月の生活費の目安は学生寮費と食費を合わせて700USドルとなります。

③ 旅費・交通費・学生ビザに関する手数料など

自己負担・自己責任

11. 辞退について

派遣留学申込書を提出した後は、プログラム参加の辞退は原則として認められません。このプログラム参加希望者は、課程修了までに必要な履修登録単位数や、参加に掛かる費用の負担に問題がないかどうかを十分に確認した上でお申込みください。